



裏表紙
キーワードで知る
セメダイ



P5
ニュース&
トピックス



特集▶P6
セメダイの技術



トップインタビュー **P1**

第84期 事業報告書
2017年4月1日から2018年3月31日まで

CEMEDINE REPORT



P7

決算ハイライト



株主様
ひろば

P9

代表取締役社長
岡部 貫

企業理念

人を大切にし、より良い製品をより多くの人々に
提供することにより社会に貢献する

セメダインが持つ長年の 歴史・ブランド・技術力を活かし、 お客様に新たなソリューションを提供することで、 成長路線に乗せてまいります。

Q 当期(2018年3月期)の業績について、
ご説明ください。

A 売上高の増加に加え
コスト低減などにより
大幅な増益となりました。

建築土木関連市場はサイディングメーカーや住宅設備メーカー向けの売上は伸びたものの、新設住宅着工件数の減少などにより、売上高は前年同期比1.0%減少しました。工業関連市場では国内外の電機・電子部品市場向けの売上が増加したほか、連結子会社セメダインオートモーティブ株式会社を当社に吸収合併したことによる影響もあり売上高は同14.6%増加しました。一般消費者関連市場は前期に引き続き、100円ショップなどで使いきりタイプの商品などの販売が好調に推移し、売上高は同2.1%増加しました。

新製品としては、高い接着性と剥がしやすさを兼ね備えたビニル床タイル用接着剤「セメダインフロアロック210」、

■ 2018年3月期の連結業績

売上高

27,909百万円
(前年同期比 5.1%増)

営業利益

1,140百万円
(前年同期比 46.2%増)

経常利益

1,048百万円
(前年同期比 72.9%増)

親会社株主に帰属する当期純利益

667百万円
(前年同期 25百万円)

高耐熱弾性接着剤「セメダインSX7700」、靴用瞬間接着剤「セメダインシューズドクター瞬間接着剤」などを各市場に投入しました。

当社グループ全体の売上高は279億9百万円(前年同期比5.1%増)となりました。増収効果に加え、コスト低減や海外事業の収益改善に向けた施策が功を奏し、営業利益は11億40百万円(同46.2%増)、経常利益は10億48百万円(同72.9%増)となりました。なお、経常利益は4年連続の減益基調から反転し、5年ぶりに10億円台に回復しました。

また、国内外における組織再編に伴う特別利益の発生もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は6億67百万円(前年同期25百万円)となりました。

Q **社長に就任されてから1年が経過しましたが、今後の事業戦略などについてのお考えをお聞かせください。**

A **セメダインをきちんと成長路線に乗せることが最大のミッションです。**

セメダインには95年もの歴史、ブランド、技術力がありませんが、最近ではそれらを十分活かし切れずに、頭打ちの状況がありました。私の最大のミッションはセメダインをきちんと成長路線に乗せることと考えています。当期はそのきっかけとなる第一歩になれたものの、来期こそが正念場と考えてい

ます。これまでの延長線ではなく、今後は接着剤メーカーとして特長のある製品を提供し、新しい接着工法なども合わせて、お客様にソリューションを提供していきます。顧客目線に沿った開発を進めると同時に、親会社である株式会社カネカとの関係を強化して、共同研究の推進や、一層の海外展開も目指します。

Q **自動車のEV化や自動運転などが注目されていますが、産業の変化は、御社に影響を与えますか。**

A **接着ニーズの構造的な伸びを見込んでいます。**

私は接着剤メーカーにはチャンス時代が到来していると思っています。建設や自動車などにおいてこれまでは溶接という点接合方式が主流でしたが、熱発生や溶接工不足の問題や生産性向上ニーズなどがあり、接着剤を用いた面接合方式への中長期的な移行が見込まれます。さらに、鉄とプラスチック、ゴム、コンクリートなど多種多様な異種材料の接着ニーズはますます増大しています。また、水分から守るための封止材も電子部品などには不可欠であり、需要が伸びていますが、当社はスマホ向けなどにすでに製品を提供しており、一層の成長余地があると見ています。EV(電気自動車)化や自動運転となると、自動車は電子部品の塊ともいえ、従来の自動車向けとは異なる製品の活かせる場面が広がると期待しています。

Q 御社が製品提供された日本チームHAKUTOが参加した民間月面探査の国際賞金レースについてお聞かせください。

A 過酷な環境で通用する接着剤、封止材、保護材の開発や供給実績を他の事業分野で活かしていきます。

米グーグル社が出資したGoogle Lunar XPRIZEという世界10か国以上16の民間チームが競い合ったレースでしたが、日本唯一のチームHAKUTOを含む5チームが決勝に残ったものの2018年3月31日の期限内にミッションを果たせない見通しとなり、2018年1月に終了しました。また、当社のHAKUTOとのコーポレートパートナー契約は2018年3月に終了しました。しかしながら、宇宙空間という過酷な環境にも耐えられる接着剤、内部にある電子機器の接合部に使う封止材、電子基板全体を月の砂から守る保護材などを開発できました。運営企業のispace社は自力での月面探査を計画しており、私共の開発成果が活用できると考えています。地上でも過酷な特殊環境があり、今後は他の分野でこれらの製品を活かしていきます。(5ページ参照)

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 安定配当を継続していきます。

当社は株主の皆様に対する安定的な配当を、経営の最



重要課題の一つとして認識しております。当期の期末配当は1株当たり5円とし、中間配当5円と合わせた年間配当は10円を予定しており、次期につきましても同額の配当を予定しています。

2016年1月に当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を目指して単元株式数を1,000株から100株に変更して以来、嬉しいことに個人株主数は増加傾向が続いています。当期末の株主数は3,470名と、前期末よりさらに1,170名、増加しました。なお、株主優待制度として、商品カタログから選択していただく方式を採用していますが、選択肢の一つに日本赤十字社への寄付を追加しました。

株主の皆様におかれましては、2023年に創業100年を迎えるセメダインへの一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

NEWS & TOPICS

麻布警察署 採用物件

「セメダインタイルエースPro」は、東京の繁華街として有名な六本木周辺を管轄している警視庁麻布警察署の新庁舎(2018年11月に完成予定)の壁タイルの接着剤として採用されました。従来、タイルの張り付けはモルタル施工の工法が主流でしたが、近年ではモルタル施工物件でのタイルの割れや剥落といった不具合が発生していることもあり、接着剤でタイルを張り付ける工法が注目されております。そのような中、2015年にタイル張り専用弾性接着剤としてリニューアルした「セメダインタイルエースPro」の性能を評価していただき、採用されるに至りました。



セメダインオートモーティブ株式会社吸収合併

セメダインは100%出資の連結子会社であるセメダインオートモーティブ株式会社を2017年10月1日付で吸収合併しました。

セメダインは自動車関連製品の開発・生産等のシナジー効果の強化を目的として、2011年12月15日にセメダインオートモーティブ株式会社(当時の社名、セメダインヘンケル)の発行済株式の51%をHenkel AG & Co.KGaA(ヘンケル社)より取得し、セメダインオートモーティブ株式会社をセメダインの完全子会社としました。その後、セメダイングループにおける自動車関連事業と他の事業とのシナジー効果の一層の強化と意思決定の迅速化を目的として吸収合併することといたしました。

HAKUTO column

HAKUTO最終報告

史上初の民間月面探査レースGoogle Lunar XPRIZEは、2018年3月31日までの打ち上げを実現するチームが現れなかったため、勝者なくその幕を閉じました。セメダインが支援していた日本唯一の参加チームであり、優勝候補の筆頭と目されていたチームHAKUTOも期限内の打ち上げは叶いませんでした。しかしながら、運営企業のispace社は自力での打ち上げと月面探査の計画を発表し、引き続き宇宙産業の構築を目指しています。セメダインも、HAKUTOのエンジニアとの接着剤開発協力を通じて得た、未知の課題に一丸となって挑んだ経験を活かし、今後もつける力で、あらゆる場面にイノベーションを起こす技術開発に邁進していきます。



月面探査機：SORATO

※その後、レースを主催していた米国エクспライズ財団は、「Googleに代わる新たなレーススポンサーを探し、レースを再起動する。」と発表しています。HAKUTOが再度レースに参加するかは未定ですが、今後の民間月面探査レースの動向にもご注目ください。

特集

セメダインの技術

お客様のニーズに応える製品を開発しています。

執行役員
技術本部長兼開発部長
秋本 雅人



構造接着

近年、種々の産業において地球環境を守るための様々な取り組みが行われています。自動車産業界においては、そのひとつがグリーンエネルギーへの転換です。ガソリンからEV(電気自動車)や燃料電池へとエネルギーが移行する中で、本体の軽量化は、新エネルギーでより長い距離を走行するために、重要なキーとなっています。近年、自動車ボディの材料研究は加速度的に進み、安全上どうしても鋼材を使う部位と、より軽いアルミニウムやマグネシウム、チタンやさらにはCFRPといった繊維強化樹脂を使う部位をすみ分ける「マルチマテリアル」化が進行しています。鋼材はより薄く、より強くなり、一方で様々な部位に鋼材以外の材料が使用されることで、今までにない材料の組み合わせと構造が生まれ、溶接に代わるまったく新しい接合方法が今求められています。中でも、接着剤は強靱な接合方法として非常に期待されています。

このような異種材料の貼り合わせ手段として、セメダインはおよそ30年前から「柔らかい接着=弾性接着」を提案してまいりました。温度変化の中で伸び縮みの異なる材料を貼り合わせる場合、接着剤がゴムのように柔らかい方が貼り合わせる材料に負担がかからず長期にわたって信頼性のある接着が可能との考え方で、建築や電機・電子部品等多くの産業で支持され、当社における主力製品である「セメダインスーパーX」をはじめとした現在の各種製品の基礎となっています。「弾性接着」は、

タイル等の建築仕上げ材や細かな電子部品等の異種材料の接着に適している一方で、自動車構造に求められる接着接合においては、柔らかさゆえに剛性不足が課題とされ、この分野に鉄×鉄用途として従来から使用されてきた熱硬化形「構造接着」とは一線を画してきました。

「マルチマテリアル」化が進む中で、大きな期待と広大な市場を前に、セメダインとして従来の「構造接着」に、セメダインのコア技術である「弾性接着」技術を融合させた他社にはない全く新しい次世代構造用接着剤の開発に取り組んでおります。大きく変貌を遂げるこの時代にあって、セメダインはその先頭を走り続けるべく、日々努力を重ねてまいります。



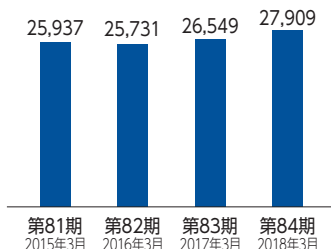
決算ハイライト

経営成績

(単位：百万円)

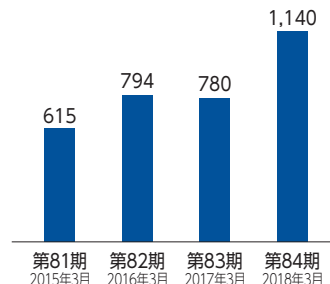
売上高

27,909百万円
(前年同期比)
5.1%増



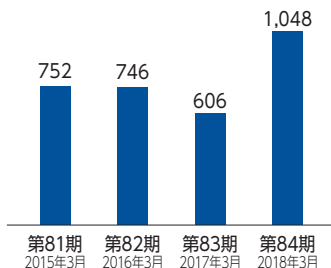
営業利益

1,140百万円
(前年同期比)
46.2%増



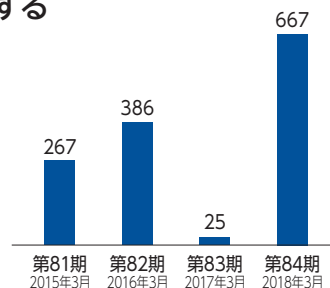
経常利益

1,048百万円
(前年同期比)
72.9%増



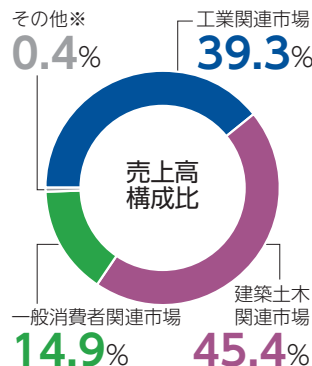
親会社株主に帰属する 当期純利益

667百万円
(前年同期)
25百万円

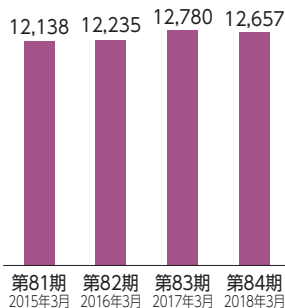


セグメント情報

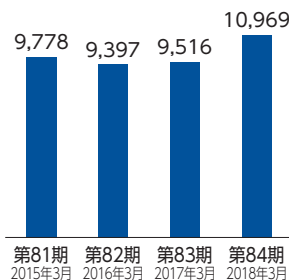
(単位：百万円)



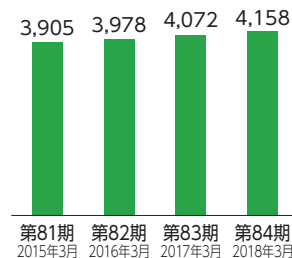
建築土木関連市場売上高



工業関連市場売上高



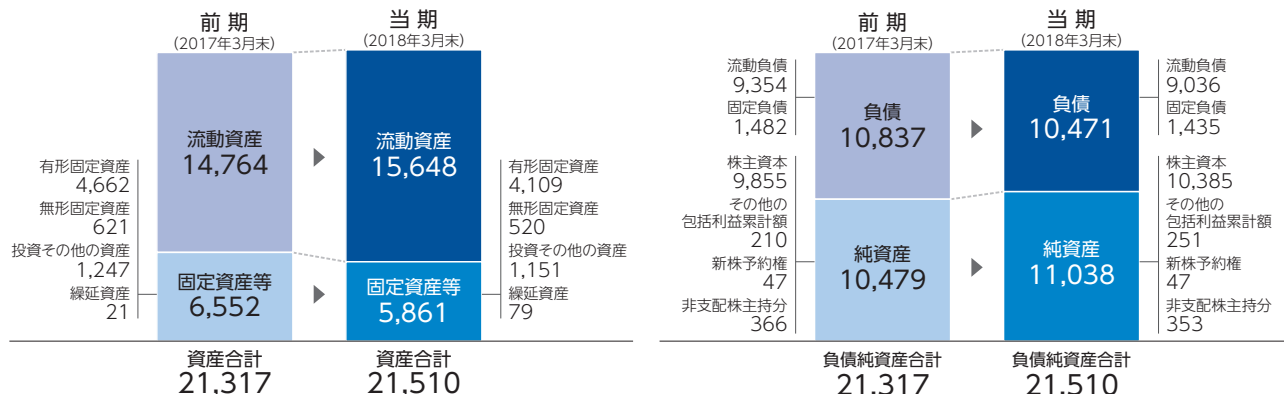
一般消費者関連市場売上高



※不動産賃貸収入124百万円
(前年同期比0.2%増)

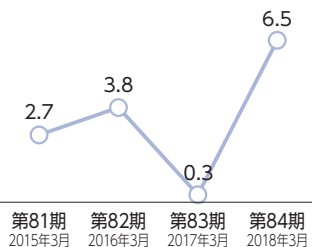
財務状況

(単位：百万円)



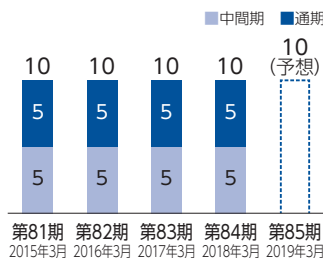
ROE

(単位：%)



1株当たり配当金

(単位：円)



建築土木関連市場での売上は減少したものの、国内外の電機・電子部品市場向けの売上増加をはじめ連結子会社セメダインオートモーティブ株式会社の吸収合併などの影響もあり工業関連市場の売上が増加したこと、一般消費者関連市場で100円ショップなどへの売上が堅調に推移したことなどから、2017年度の売上高は27,909百万円(前年同期比5.1%増)となりました。



材料価格が上昇傾向で推移しましたが、売上高の増加に加えコスト低減や海外事業の収益改善などにより、営業利益は1,140百万円(前年同期比46.2%増)となりました。

WEBサイトのご案内



ホームページで当社の事業活動、株主投資家向け情報などを掲載しております。ぜひご利用ください。



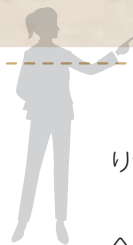
セメダイン

検索

<http://www.cemedine.co.jp/>

株主様 ひろば

当社の株主優待制度を
ご紹介します。



株主の皆様には、平素よりセメダインをご支援いただき、誠にありがとうございます。

当社は、日頃のご支援に対する感謝の印として、また当社製品へのご理解を深めていただくため、当社製品を中心とした優待商品をお贈りしております。昨年も優待の申込と同時にアンケートにもご協力いただいておりますが、その中で特に多かったご意見をご紹介します。



ご意見①

**長期保有者を
対象とした
優遇制度も
導入してほしい**

ご意見②

**保有株式数の
区切りを、100株と
1,000株だけでなく、
もっと増やしてほしい**

ご意見③

**自社製品の
選択肢には
区がないように
してほしい**

本年の優待では、ご意見③に基づき、当社製品につきまはは株式数に関わらず共通の選択肢にいたしました。ご意見①と②につきましては、このように優待制度を充実させることで株主の皆様により満足していただけるようになると考えておりますが、課題も多く、残念ながらまだ実現できておりません。ただ今後も、優待制度を継続して改善していきたいと思っております。

今期も株主様アンケートを引き続き実施させていただきますので、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

前回のアンケート結果に関連して情報を補足させていただきます。

『第83期事業報告書 CEMEDINE REPORT』で興味のある記事は何ですか?の質問で最も多かったご回答は、【トップインタビュー】でした。そこで、このインタビュー記事で触れていない当社社長岡部の一面について、少しご紹介させていただきます。

- 座右の銘
「天からみれば、みな同じ」
- 趣味
中学時代に始めたエレキギター。
今もおやじバンドを組んでいます。



会社概要・株式情報 (2018年3月31日現在)

会社の概要

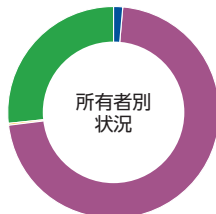
商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
設立	1948年4月22日(創業1923年11月)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場2部)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	335名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着剤・特殊塗料・ コーティング剤およびその加工品の製造販売 接着および防水等に関する施工および請負
主要取引銀行	三菱UFJ銀行/りそな銀行/三菱UFJ信託銀行

取締役および監査役 (2018年6月20日現在)

代表取締役会長	松本 有祐	
代表取締役社長	岡部 貫	
取締役副社長	岩切 浩	
取締役	栢野 宣昭	管理本部長
取締役	香西 正博	生産・物流本部長
取締役	大津 功	事業本部長
社外取締役	及川 隆夫	
社外取締役	小町 千治	
監査役(常勤)	堀江 康信	
社外監査役	細野 幸男	
社外監査役	渡辺 政宏	
社外監査役	水川 聡	

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株主数	3,470名



大株主 (出資比率1%以上)

株主名	当社への出資状況		■ 金融機関、証券会社	1.4%	■ その他法人	71.8%	■ 外国法人等	0.2%	■ 個人・その他	26.6%
	持株数(株)	出資比率(%)								
株式会社カネカ	7,966,200	53.3								
セメダイン共栄会	1,332,600	8.9								
日本ウイリング株式会社	460,000	3.1								
株式会社LIXIL	300,000	2.0								
三菱商事株式会社	232,500	1.6								
アジアケンディジャパン株式会社	205,000	1.4								
三木産業株式会社	200,000	1.3								

(注) 大株主の出資比率および株主の分布状況については、自己株式(231,279株)を控除して算出しております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 利益配当金 3月31日・9月30日
受領株主確定日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (市場2部)
- 公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
(http://www.cemedine.co.jp/)
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

● IR情報の詳細はホームページへ

セメダイン 検索 <http://www.cemedine.co.jp/>

キーワードで知るセメダイン



KEYWORD

チンアナゴ

接着剤で、チンアナゴを作ることができる。—そんな接着剤の新しい使い方が広まりつつあります。

チンアナゴという魚をご存知でしょうか。全長40cmの細長い体を砂から出し、波にゆらゆらと揺れる姿はとても愛嬌があり、人気が急上昇している魚です。

2015年12月、セメダインのTwitter公式アカウントで「【セメダインスーパーXゴールド】を使って、チンアナゴを作ることができる」と投稿したところ、リツイート(シェア)3万件をこえる大きな話題となり、「かわいい」「面白そう」「作ってみたい」といった好意的なコメントが多数寄せられました。

セメダインスーパーXゴールドは、一本で色々な素材に使うことができ、貼った後も剥がれにくく、様々なシーンで使え、シンナーを全く含まない環境対応型の高性能多用途接着剤です。セメダインスーパーXゴールドを使いきる新たな用途を増やせないか、という思いから誕生したのがチンアナゴづくりであり、「肉やせしない」「透明度が高い」「弾力性がある」「速乾タイプ」といったセメダインスーパーXゴールドならではの性質が活かされています。

この「固めて作る」用途は、接着剤そのものだけで楽しむ全く新しい使い方として、たくさんの方に好意的に受け

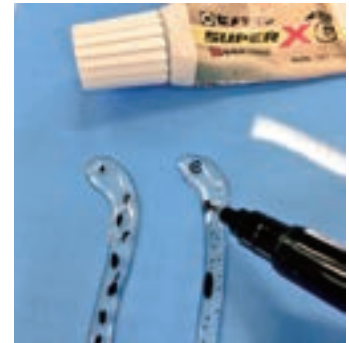
入れられました。

初めてのTwitterへの投稿から2年半が経過した現在、チンアナゴを作るためにセメダインスーパーXゴールドを購入する方も多く現れるなど、Twitter上の一部のユーザーの間では、「チンアナゴといえばセメダイン」と言われるほど浸透しつつあります。

2017年11月10日と翌日の「チンアナゴの日」(11月11日)に東京スカイツリーに隣接した、すみだ水族館のチンアナゴイベントにて予約制のワークショップを実施しました。2日間でおよそ200名のお客様にチンアナゴづくりを楽しんでいただき、イベントを通じて新たな接着剤の楽しみ方を広げることができました。

作り方は、クリアファイルの上にセメダインスーパーXゴールドをチンアナゴの形に絞り、24時間以上置いて固まったら自由に顔を描くという、非常にシンプルなものです。作ったチンアナゴはクリアファイルから外して、パソコンのモニターフレームや冷蔵庫など貼って楽しめます。

お手元にセメダインスーパーXゴールドがありましたら、是非お試しください。



 **セメダイン株式会社**

本社 〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
Tel: 03-6421-7411



本冊子は環境保全のため再生紙を使用し、植物油インキで印刷しています。

 UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。